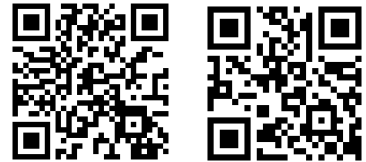


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第229号



2025年11月11日発行

ホームページ メール

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付

第36回横三労連定期大会

2025年10月31日



医労連神奈川みなみ 時間延長提案とのたたかい

第36回定期大会 34名参加で盛会！

10/31（金）、激しい雨と大渋滞の中、役員13名、代議員17名、来賓4名が総合福祉会館に集まり、第36回定期大会を開催しました。

来賓として、神奈川労連山田事務局長、労働センター遠山氏、日本共産党井坂県議が挨拶、臺野議長の挨拶のあと、報告、討論に入りました。

学習協から、労働学校とバスツアーの報告、土埭から土埭まつり、米兵

事故裁判や月間の取組、三浦市職労から、定期大会の報告、年金者から拡大月間と年金裁判の取組、うわまち病院から、病院移転と新人拡大や残業代支払いの報告、自交総連から、組合員倍化の報告、愛加那から組合結成7年の定期大会報告、公務公共一般から、職場革新懇の取組が報告されました。

また方針案に対して、気候問題での具体的対案の加筆提案がありました。

神奈川みなみ医療生協では現在、1日当りの労働時間が実働7時間の4週6休制（祝日別、土曜日半日休）をとっていますが、実働7.5時間の変形時間労働制による4週8休制（祝日含、土曜1日勤務）導入の申し入れがされ、年間の労働時間が約118時間増え、総休日数はほぼ変わらない内容の提案になっています。

目的は、残業と早番遅番に係わる手当の削減及び神奈川民医連内の別法人と足並みを揃えることにあります。

度重なる社会保障費の削減で医療・介護施設の経営が限界を迎えている中で、当法人も例外ではなく、経営改善はいよいよ猶予のないところまで来ているのも事実ですが、労組員の生活も限界を迎える中で、どこまで歩み寄れるかこれからの闘いにかかっていると看做します。

米大統領・高市首相、横須賀に！

10/28（火）、日米両首脳が横須賀に来て、原子力空母艦内で米兵・自衛隊員に向けて演説しました。

トマホーク・アクション2025の呼びかけでヴェルニー公園岸壁に約100人が集まりましたが、公園管理課がいろいろ難癖をつけた上、公安警察を呼びました。

市民らは、法的根拠を問うとともに、整然と抗議行動を続け、マリーン・ワンに向けてコールを行いました。

